今こそ知っておきたい SDGs入門

SDGs（エス・ディ・ジーズ）って？

SDGs（＝持続可能な開発目標）とは、「Sustainable Development Goals（サスティナブル・デベロップメント・ゴールズ）」の略です。

世界は今 貧困、気候変動、人種やジェンダーに起因する差別など、解決できていない問題を抱えています。人間が環境保護や人権を考慮しないで、利益を優先する行動をとり続ける限り、貧困や差別、環境破壊は進んでいきます。 そこで**地球が私たちにとって住み続けることができる環境であり続けること**を目的に、SDGs は国連で採択されました。世界のだれ一人取り残さないことを誓い2030年までに達成する17の目標をもち、目標達成に向けて169の実施手段が設定されています。持続可能な開発のことを国連では「将来の世代のニーズに応える能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たす開発」と定義しています。持続可能な開発というのは今を生きる大人世代だけでなく、子や孫、その先を生きる未来のことを考えた開発が求められているといえます。

だれが取り組むの？

私たち一人ひとりです！ SDGsは国や大企業だけが取り組めばいいというものではありません。自治体や中小企業、市民団体をはじめ個人も力を合わせていくことが大切です。 少しだけ意識や行動を変えてみると、達成できる目標はたくさんあります。

2030年までに達成を目指す１７の目標

無理なく続けていくには…

2021年9月現在

「17の目標を全部やるんだ」と意気込んでも長くは続きません。継続して行動することが求められます。「未来の世代のために、地球の温暖化を進ませないなど未来の環境を整えるために」 今！自分ができること、できそうなことから始めてください。

国際連合広報センターでは「持続可能な社会のためにナマケモノでもできるアクション・ガイド」を作成しています。そこでは「ソファーに寝たままできること」「家にいてもできること」などレベルづけをしながら個人でできる SDGs の活動を紹介しています。

【国際連合広報センター】
持続可能な社会のために、『ナマケモノでもできる アクション・ガイド』にアクセスしてみよう

因みに、横浜市は“SDGs 未来都市”に選定されています。相鉄いずみ野線沿線地域としては、駅ごとの特色を活かしながら「街マルシェ」や「SDGs 体感住宅地プロジェクト」などの取組を推進しています。

一人ひとりの地道な取組みの積み重ねが世界を変える大きな力につながります

使わなくなったものを寄付してみよう

一度使ったもの、例えばおもちゃや服、本などは必要な人に寄付のも一つの方法！

#リデュース　#リユース
#リサイクル　#ヨコハマ3R夢プラン

【クリアできるターゲット】

フードロス※がでないように、買い物前には冷蔵庫を確認しよう

食品ロスを減らすことは食べ物を無駄にしないだけでなく、廃棄エネルギーを使わなくてすみます。また買い物のときに、地産地消のもの選ぶことは地域経済の発展につながり、輸送エネルギーの削減にもなります。

#フードロス　#地産地消

【クリアできるターゲット】

※フードロス…本来食べられるのに捨てられてしまう食品

マイバッグを持ち歩こう

プラスチックを適切に回収・分別しないと海洋汚染の原因になることがあります。レジ袋ではなく、マイバックを持って出かけよう。

#マイバック　#マイバック運動

【クリアできるターゲット】

ＳＮＳでＳＤＧｓの取り組みを発信する

認知度がまだまだ低いＳＤＧｓですが、取り組みを知る人を増やすことで、未来は変わります。いいね！と感じた活動は積極的にシェアしてみましょう。

#サステナブル　#地球環境

【クリアできるターゲット】

イラストボランティア　Ho-Chan